

## 家庭から出る医療廃棄物の出し方

在宅医療の普及に伴い、注射器、点滴パック等の廃棄物が一般家庭からも排出されるようになりました。これらの「在宅医療廃棄物」を誤った方法で廃棄すると、針刺し等による感染症などの危険が生じる可能性がありますので、適切な廃棄をお願いします。

なお、この案内は家庭から出る医療廃棄物の出し方になりますので、病院等の医療機関等から排出される場合は、環境省感染性廃棄物処理マニュアル等に基づき適正に処理してください。

## 家庭から出る医療廃棄物の種類と廃棄方法

種類	廃棄方法	廃棄に関する注意
注射針 例： ・針付き注射器 ・点滴針 ・翼状針	病院・診療所、訪問看護ステーション、薬局へ持参するか、あるいは往診医・訪問看護師へ渡す。	・使用後に注射器と針の接続部を外さない（針刺し予防のため）。 ・廃棄容器は、持参する病院等の指示に従う。
注射筒 例： ・ペン型インスリン注入器 ・栄養注入器 ・カテーテルチップ	可燃ごみとして町指定ごみ袋（黄色）に入れる  <b>【注意】針付き注射器は、病院等へご相談ください。</b>	内袋で密閉して、可燃ごみの指定袋へ入れる
輸液ライン	・輸液ライン（針部以外）：可燃ごみとして町指定ごみ袋（黄色）に入れる ・点滴ラインの針部：病院等へ返却	・輸液ラインの針部を切断し、針部とライン部を別々に廃棄する。 ・輸液ライン（針部以外）は、内袋で密閉して、可燃ごみの指定袋へ入れる。
カテーテル類 例： ・膀胱留置カテーテル	可燃ごみとして町指定ごみ袋（黄色）に入れる	ごみとして出す際は、内袋を使用し袋の口をしっかりと閉じて液漏れ等のないようにする。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・間欠的自己導尿カテーテル</li> <li>・気管内吸引チューブ</li> <li>・口腔内吸引チューブ</li> </ul>		
<p>プラスチックバッグ類</p> <p>例：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点滴バッグ</li> <li>・CAPD バッグ</li> <li>・ストーマ袋</li> </ul>	<p><b>可燃ごみとして町指定ごみ袋（黄色）に入れる</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点滴バッグ内に残っている液を捨て空にする</li> <li>・CAPD 排液はトイレに流す</li> <li>・ストーマ袋内の便は、トイレに棄てる</li> <li>・ごみとして出す際は、内袋で密閉して、可燃ごみの指定袋に入れる。</li> </ul>
<p>ガラス製点滴ボトル</p>	<p><b>不燃ごみとして透明または半透明の袋に入れる</b></p>	<p>ガラス製点滴ボトル内に入っている液を捨て空にする。</p>
<p>空き缶類</p> <p>例：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・缶入の経管栄養剤</li> </ul>	<p><b>不燃ごみとして透明または半透明の袋に入れる</b></p>	<p>缶内に残っている液を捨て空にする。</p>
<p>紙おむつ、ガーゼ、脱脂綿等</p>	<p><b>可燃ごみとして町指定ごみ袋（黄色）に入れる</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙おむつ：汚物を取り除いたうえで、内袋で密閉して、可燃ごみ袋の指定袋に入れる。</li> <li>・ガーゼ、脱脂綿等：内袋で密閉して、可燃ごみの指定袋に入れる。</li> </ul>